



# Change.org Japan 2023

活動報告書

# WHAT'S Change.org?

私たちのビジョンとミッション

Change.org (チェンジ・ドット・オーグ) は、世界196か国で利用されているオンライン署名のプラットフォームです。社会にポジティブな変化を起こしていくために、2007年に社会企業家のベン・ラトレイがアメリカで開設。2012年に日本版がスタートしました。



Change.orgでは、誰でも無料でオンライン署名を立ち上げることができ、ネットやSNSの力でさまざまな垣根を越えて、多くの人から署名を集めることができます。

## VISION

自分の意見や思いに価値があると信じられ、声に出して変化を起こすことが当たり前の社会になること。



## MISSION

誰もが「変えたい」気持ちを形にして、より良い社会を実現できるように人々をエンパワーすること。



# SOCIAL CHANGE REVIEW

2023年を振り返る

新型コロナのパンデミックが収束し、3年ぶりに制限のない日常を取り戻した2023年。ロシアのウクライナ侵攻が長期化した影響で物価が高騰し、7月には世界の平均気温が観測史上最高値を記録。10月にはイスラエルによるガザ地区への軍事侵攻が激化し、世界中で停戦を求める声が高まりました。Change.org 日本版でも、戦争や気候変動など地球規模の問題への関心が高まり、日本からも国際社会に連帯を示し、日本の政府や企業に働きかけるなど、さまざまなアクションが巻き起こりました。



日本国内では、長い時間をかけて手繰り寄せてきた変化が、数多く実った年でもありました。2019年にスタートした刑法改正を求める署名活動には14万を超える人が共に声をあげて法改正を実現。2023年7月、性犯罪に関して大幅に改正された刑法がついに施行されました。自衛隊での性被害を告発し、公正な調査を求めて2022年

から署名活動を行っていた元自衛官の五ノ井里奈さん。長く訴え続けてきた真実がついに裁判所にも認められ、2023年12月、被告3人に有罪判決が言い渡されました。望んだ通りの変化がすぐに起こらなくても、粘り強く活動した先に実現できるという希望を私たちに見せてくれました。



# CHANGES IN JAPAN

日本で起こったチェンジ



物価はどんどん上がるのに、賃金は上がらない……。日々の生活がますます苦しくなる中、インボイス制度の開始が目前に迫り、2021年から反対の声をあげ続けていた「#STOPインボイス」の署名活動が一気に加速。日本のオンライン署名最多賛同記録を大きく上回って56万人を突破し、一大ムーブメントを巻き起こしました。神奈川県では、「学校で再生可能エネルギーを使いたい」という高校生の声が届き、全公立高校135校で再エネが導入へ。埼玉県では子育ての実態とかけ離れた条例案を食い止めようと立ち上がった主婦が、瞬間に10万超の署名を集めて異例の撤回を実現。新潟県では小学1年生が署名活動を行い、4年越しで待望の新しいスケートパークがオープン。身の回りの「おかしい」と思ったことに声をあげてみると、みるみる共感の声が集まって変化を起こすパワーになる、そんなうれしい成果が日本各地で実った1年でした。



**443万人**

日本のユーザー数



**1,092件**

オンライン署名数



**122件**

成功宣言した署名数

## Changemaker Award 2023

チェンジメーカー・アワード

2023年12月には、ユーザーの皆さんからの投票で選ばれる「チェンジメーカー・アワード2023」を開催。2023年に最も市民をエンパワーし、社会にインパクトを生み出したオンライン署名に選ばれたのは、ロッシェル・カップさんの「神宮外苑1000本の樹木を切らないで～再開発計画は見直しを!」。音楽家の坂本龍一さんが反対を表明したことを皮切りに、村上春樹さんや桑田佳祐さんなど多くの著名人が続々と反対の声を上げ、大きなムーブメントを巻き起こしました。

詳しく知りたい方は ▶ [チェンジメーカー・アワード 2023](#)



# PETITIONS IN JAPAN

日本でインパクトを与えたオンライン署名

## C. ヤマト運輸、解雇通知から一転、契約解除を一部撤回へ

全労連（全国労働組合総連合）



ヤマト運輸で働く3万人のパート労働者に、突然届いた契約解除・解雇の通知。労働組合が撤回を求めるオンライン署名を立ち上げると、賛同の声はたちまち6万超えに。「私たちの生活に身近なサービスを支えてくれている人たちの仕事が失われる...!？」という危機感がSNSなどで伝播し、応援の声と共に一気に署名活動が広がりました。労働組合の粘り強い活動の末、2024年2月、ヤマト運輸は一部の契約解除を撤回しました。

▶ <https://www.change.org/2023AR2>



## C. 子育ての実態とかけ離れた虐待防止条例をSTOP!

野沢ココさん



2023年10月に埼玉の自民党県議団が提出した虐待禁止条例改正案に対し、子育ての実態とかけ離れているとして批判が殺到。県内で2人の小学生を育てる野沢ココさんは、条例が成立すれば子育て世代をさらに苦しめることになるという危機感から、なんとかして食い止めようと署名活動をスタート。わずか1週間で10万超の賛同を集め、自民党県議団に署名簿を提出。それを受けて県議団は条例案を撤回しました。

▶ <https://www.change.org/2023AR1>



## C. 1人の高校生の声から大きな一歩。神奈川県内の公立高校全135校が再エネに移行

ふきたろうさん



気候変動について学ぶ授業で、学校の電力に化石燃料が使われていることに矛盾を感じた高校生のふきたろうさん。「気候変動に加担したくない」という思いから、学校で再生可能エネルギーを利用することを求めて署名活動を行い、2021年8月に県知事に署名簿を提出。コロナ禍を経て2023年4月から、神奈川県内の公立高校全135校の電力が再エネに移行されました。全国の自治体でもめずらしい、とても先進的な取り組みです。

▶ <https://www.change.org/KanagawaSaiene>



## C. 42年の時を経て、冤罪裁判の再審が決定

戸館圭之さん



1966年8月に逮捕され死刑判決を受けていた元プロボクサーの袴田巖さんは、1981年から弁護団とともに冤罪を訴えて裁判のやり直しを求め続けてきました。2023年3月13日、東京高裁は再審開始を認める決定へ。それに対し、検察が再審を拒否する「特別抗告」を行わないよう求めるオンライン署名には、開始24時間で1万人、5日間で4万もの賛同が集まり、市民の声が速やかな再審を後押ししました。

▶ <https://www.change.org/hakamada-saishin>

▶ <https://www.change.org/hakamada-koukoku>





# PETITIONS IN JAPAN

日本でインパクトを与えたオンライン署名

## C. 「インボイス制度」に待ったの声

インボイス制度を考えるフリーランスの会



年間売上1000万円以下の小規模事業者に対し、消費税を支払うか、課税事業者にならないことで収入が減るリスクを背負うかの二択を迫るインボイス制度。自身もフリーランスとして働く小泉なつみさんは、2021年から「#STOPインボイス」の署名活動を開始。2023年10月の導入目前に反対の声がさらに高まり、9月にはChange.org日本版開始以来の最多賛同記録を更新。54万筆を超える署名簿を岸田首相に提出しました。

▶ <https://www.change.org/stopinvoice>



## C. 「もう誰もこんな思いをしないように」当事者らがあげた声

橋田康さん、カウアン・オカモトさん、二本樹顕理さん、志賀泰伸さん



ジャニーズ性加害問題で、被害に遭った経験を持つ橋田康さん、カウアン・オカモトさん、二本樹顕理さん、志賀泰伸さんがさらなる被害者を生まないように児童虐待防止法の改正を求めるオンライン署名を開始。集まった3.9万人からの賛同の声を自由民主党、公明党、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、日本共産党の与野党6党に届けました。

▶ <https://www.change.org/johnnys-houkaisei>



## C. STOP子どもの性被害! 8.3万人の声

認定NPO法人 フローレンス



性犯罪歴がある人が子どもと関わる仕事に就くことを防ぐための仕組み「日本版DBS」。塾や習い事、無償ボランティアも含めた「子どもと関わる仕事すべて」を制度の対象にするべく、認定NPO法人フローレンスが8.3万を超える賛同を集めて、こども家庭庁に署名簿を提出しました。2023年秋の国会では法案提出は見送られてしまいましたが、2024年に入ってから継続して議論されています。

▶ [https://www.change.org/DBS\\_SaveChildren](https://www.change.org/DBS_SaveChildren)



## C. ガザ地区の停戦を望む声、日本からも

国境なき医師団 日本



イスラエルと「ハマス」の軍事衝突が続くガザ地区。恒久的な停戦を求め、Change.orgでも世界各国で多くの市民や団体が声をあげています。日本では、ガザ地区でも多くの市民に医療を提供してきた「国境なき医師団」日本事務局が、いち早くオンライン署名を開始。日本政府に対し、国際社会に向けて積極的に停戦を働きかけていくことを求め、2週間強で10万を超える賛同を集め、日本政府に署名簿を提出しました。

▶ <https://www.change.org/2023AR3>





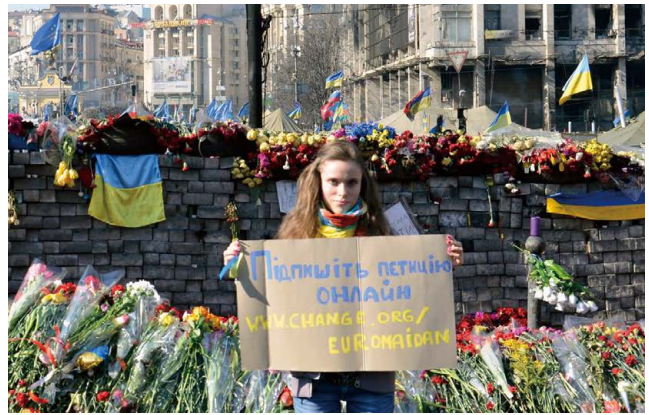
# CHANGES IN THE WORLD

世界で起こったチェンジ



2023年、Change.orgの世界のユーザー数は5.2億人へ。世界各地で53.2万件を超えるオンライン署名が立ち上がり、内6,740件もの署名活動が成功を宣言しています。2022年から続くロシアによるウクライナへの軍事侵攻に加えて、2023年10月にはイスラエルと「ハマス」の軍事衝突が激化。パレスチナ・ガザ地区の犠牲者が日に日に増え続ける中で、人道状況の改善や停戦を求める声が世界中からあがり続けています。

Change.org日本版は、世界各地の運営チームと連携し、ウクライナやパレスチナ関連のオンライン署名のみならず、世界で話題になっている署名活動を日本語に翻訳してご紹介しています。また、日本発のオンライン署名をグローバル展開することも。世界各地の問題や誰かの困りごとに対して、どこからでも声をあげて、一緒に変化を起こす仲間になれる。Change.orgは世界中の人々にとって、そんな場所やきっかけになれることを目指しています。



**5.2億人**

世界のユーザー数



**53.2万件**

オンライン署名数



**6,740件**

成功宣言した署名数





# PETITIONS IN THE WORLD

世界でインパクトを与えたオンライン署名

## C. 誘拐され取り残されていた11人の少女の救出に成功

ナイジェリア



2020年、ナイジェリア・ケビ州で山賊が女子中学校を襲撃し、60人以上の少女を誘拐しました。翌年にその大半が解放されたものの、11人の少女が取り残されてしまうという事態に……。にもかかわらず、行動を起こさない政府に対し、1人の女性が救出を求めて声をあげました。そして、1年以上に及ぶ署名活動の末、ついに少女たちが解放されました。

▶<https://www.change.org/savekebbi11>



## C. ガン治療薬が払えない!製薬会社を動かした仲間たち

カナダ



デニス・ウェイドさんは2017年に左肺がんのステージ3と診断され、転移もあったため、タグリツソという薬を服用していました。しかし、公的な補助が切れてしまい、治療を継続するためには月1万カナダドルという重い自己負担が必要に。そこで友人が公的支援を求めてオンライン署名を開始。署名運動は地元メディアに大きく取り上げられ、なんと薬の製造元であるアストラゼネカが、費用を負担することに同意しました。

▶<https://www.change.org/OntarioDenise>



## C. 署名活動が4人の子どもを強制送還の危機から救う

ドイツ



2023年8月、ドイツのオストホルシュタイン郡の地元当局は、2歳から12歳までのベトナムにルーツを持つ4人兄妹をベトナムに強制送還することを決定。その前年に母親を殺害した罪で服役中の父親の元に、返されてしまう危険性がありました。そんな状況下で強制送還するのは理不尽だとして、里親の1人が当局の決定に反対するオンライン署名をスタート。すぐさまメディアに大体的に報じられ、強制送還は阻止されました。

▶<https://www.change.org/2023AR4>



## C. 障がいのある子どもを拒否してはならない!学校に通達

インド



インドのジャンムー・カシミール州では、教師不足を理由に特別な支援を必要とする子どもたちの入学を拒否する私立学校が数多くありました。小児のリハビリ療法士であり、ダウン症のおじを持つザヒールさんは、障害のある子どもの教育へのアクセスを求めて署名を開始。州の学校教育局長がこの署名活動を知り、特別な支援を必要とする子どもの入学を拒否してはならないという通達を全ての学校に出しました。

▶<https://www.change.org/2023AR5>





# STAFF SUPPORT

## スタッフによるサポート

Change.orgでは、署名活動を盛り上げるためのサポートを無償で提供しています。できるだけ多くの発信者の力になれるよう、経験豊富なスタッフがオンライン・オフラインの両面から、署名活動を成功に導くためのお手伝いをしています。



## 署名活動の戦略・メディア対策サポート

オンライン署名の機能をより効果的に使いこなすためのアドバイスのほか、署名提出までの道筋を立てながらチェンジを実現するための戦略立案をサポート。メディア対策やソーシャルメディアの活用など、署名活動を盛り上げるためのノウハウも伝授します。



## 署名提出・記者会見のサポート

署名発信者が抱えている課題や思いをしっかりと伝えられるように、陳情や署名提出を準備段階からサポート。要望書作成のアドバイスも行い、当日には同行することも。また、プレスリリースの配信や記者会見などを行い、メディアの力も借りながら問題を可視化していくことで、署名活動を後押しします。



## 注目の署名活動や社会課題に関する情報発信

署名発信者が伝えたいメッセージを、より多くの人に届けるために。そして、オンライン署名が巻き起こすムーブメントから、「社会は私たちの手で変えられる」という希望を感じられるストーリーをシェアするために。画像や動画などのオリジナルコンテンツを制作し、Change.org日本版の公式SNSで配信します。



# BUSINESS MODEL

## ビジネスモデル

Change.orgは、誰もが安心して声を上げられる場所であり続けるために、政府や企業からの助成金・広告費等に頼ることなく、独立した運営体制を守り続けています。その運営資金は、「会員プログラム」と「プロモーション支援」の2つの方法を通して、100%市民の皆様からの支援によってまかなわれています。皆様からいただいたご支援は、サイトの運営・管理およびスタッフが署名活動をサポートするための活動費として、大切にに使わせていただいています。

### 会員プログラム



月額500円からの会費で、Change.orgの運営や活動を支援するプログラム。さまざまな署名活動へのサポートやサービスを、ユーザーに無料で提供するための資金となります。

会員  
募集

ひとつでも多くの署名活動がポジティブな社会変革を実現するために。みんなの「変えたい」気持ちを一緒に応援しませんか？



### プロモーション支援



「プロモーション支援」は、署名に賛同した人が少額の支援をすることで、特定の署名ページの表示回数を増やす仕組みです。皆様からのご支援によって、その問題や署名活動について広くたくさんの人に知ってもらえることができ、より多くの賛同につながります。





## 企業概要

名称：Change.org Japan 合同会社

設立：2021年11月

役員：ベン・ラトレー

ベンジャミン・ジョフィ・ウォルト

アントニー・ケー・セプロ・ジュニア

\*決算報告は公式サイト内のこちらからご覧いただけます ▶「お知らせ」ページ

公式サイト



[www.change.org/ja](http://www.change.org/ja)

プレスルーム



[www.change.org/l/jp/p/pressroom\\_JP](http://www.change.org/l/jp/p/pressroom_JP)

ヘルプセンター



[help.change.org/](http://help.change.org/)



[@change\\_jp](https://twitter.com/change_jp)



[Change.orgJapan](https://www.facebook.com/Change.orgJapan)



[change.org.japan](https://www.instagram.com/change.org.japan)



[@ChangeorgJapan](https://www.youtube.com/channel/UCChangeorgJapan)

**change.org**